



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

令和元年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【人の体の不思議～このちがいてなぁに？～】

日 時:令和元年8月6日(火)14時～16時

受講者数:小学4年生から中学生 70名

会 場:兵庫県立明石看護キャンパス(306、307講義室)

講 師:渡邊竹美、牛尾裕子、中筋美子(看護学部教員)

○テーマ・概要

- ①人の体のしくみ～子どもと大人をくらべてみよう～(心拍と脈拍の測定、聴診器を用いた心音の聴取)
- ②調べてみよう!心の元気度(唾液アミラーゼ測定)
- ③くらべてみよう 運動する前と後(運動前後での脈拍測定)

○内 容

8月6日、公開講座「人の体の不思議～このちがいてなぁに？～」を開催しました。小学4年生から中学生70名が参加してくれました。

まずは「人の体のしくみ～子どもと大人をくらべてみよう～」と題して、体のしくみ、特に心臓の働きや心拍・脈拍、子どもと大人のしくみの違いについて説明しました。続けて、「ストレスってなに？」と題して、ストレスによって体に現れる反応、特にストレスと唾液に含まれるアミラーゼとの関連について説明しました。説明の後は体験&実験コーナーでした。まずは聴診器での心音聴取と心拍・脈拍の測定を行いました。自分の測定が終わった後は他の人や大人の測定を行い、自分と比べる体験もしてもらいました。参加者は「聞こえた!」と驚いていたり、楽しそうにご家族の心音を聴いたりしていました。続けて「調べてみよう!心の元気度」と題して、唾液アミラーゼ量の測定を行いました。初めての測定体験に少し緊張しているように見えた参加者もいましたが、測定結果をじっと見つめていたり、「ストレスがなくてよかった!」等と笑ったり、楽しみながら測定していました。最後は「くらべてみよう 運動する前と後」と題して、体を動かす前後で脈拍測定を行い、結果を比べる実験を行いました。「ちょっと増えた!」「私は減った!」という声と共に、たくさんの笑顔が見られていました。

講座終了後の感想では「聴診器で心音を聴くのが面白かった」「学校で勉強したことをより深く知れておもしろかった」というお声をいただきました。

